

## 泉区総合庁舎 ESCO 事業提案審査の講評

脱炭素社会の実現に向けた新たな取り組みとして、ZEB の達成を必須条件とした提案を広く募りました。

2 グループから提案があり、事前に公表している「ESCO 事業提案審査要領」に従い、提案内容を審査するとともに、公正かつ客観的に評価いたしました。

その結果、日本ファシリティ・ソリューション株式会社、エヌ・ケイ・テクノ株式会社、株式会社アキテム、海光電業株式会社グループによる提案を最優秀提案とし、アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店、芙蓉総合リース株式会社、エルゴテック株式会社グループの提案を優秀提案としました。

日本ファシリティ・ソリューション株式会社グループの提案は高効率熱源設備への更新、空調機インバーター制御の導入、デリバントファンの更新・運用、照明 LED 化、大規模な太陽光発電設備の導入及び BEMS 増設等を行うものでした。

アズビル株式会社ビルシステムカンパニー横浜支店グループの提案は高効率熱源設備への更新、空調機インバーター制御の導入、照明の LED 化、本市で未改修部分の窓の Low-E 複層ガラス化等を行うものでした。

両グループともに、建物の基本コンセプトに配慮して ZEB Oriented を達成する提案となっておりますが、日本ファシリティ・ソリューション株式会社グループの提案は省エネルギー化が図られる工事範囲が広く、再生可能エネルギーの規模が大きく、補助金を活用しない場合に実施可能な項目が多いため、高い評価となりました。

最後に多大な労力をかけ、知識を活かした貴重なご提案をいただいた応募者に対し審査委員を代表して心からお礼申し上げます。

令和4年11月25日

横浜市 ESCO 事業提案審査委員会  
委員長 沖 裕壮